	生涯現役社会・何	建康寿命の延	伸			次期計画への方向性	意見	通番	アンケー
施策 フレイ					担当課				
指標 要介護・要支援申請時の年齢 基準値 79.7歳 (令和元年度)									
基準値	79.7歳(令和	,,					総合事業など要介護・要支援		
実績 		計画期間	1	実績に対する評価			認定を受けなくても使える		l ,
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度の実績値については、目標を上回る結果となった。社会参加や介護予防等の3	事業に加え、フレイ	継続	サービスを充実させ、市民の選択肢を増やす。	1	/
目標値	79.8歳	79.9歳	80.0歳	ル予防事業として通いの場や住民にとって身近な場所でのフレイル予防の普及啓発や、	フレイルハイリスク				/
口际但	1 J.O/IIX	13.3/0%	00.0///	者に対する個別訪問等をコロナ禍の状況に配慮しつつ実施した。更なる要介護・要支援	申請時の年齢引き上				/
実績値	80.2歳			げに向けて、今後も事業を継続し健康寿命の延伸を目指す。					/
1 生涯現行	殳社会の実現に[向けた多様な	就労・社会参	加支援の促進		次期計画への方向性	意見	通番	アンケー
指標① シル	バー人材センタ	一就業実人数	t		担当課		高齢者の就業機会を提供する事業		
基準値	1,751人(令	和元年度)			高齢者支援課		として広く認知されており、市の 就労支援施策の中心的な事業とし て引き続き取り組んでいくことに は変わらないが、社会情勢を踏ま え、評価指標や目標値の設定を考 え直す必要がある。		
実績		計画期間		実績に対する評価				2	3
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	登録会員数は対前年度比で62人増加(R2:2,028人、R3:2,090人)しているが、就業9	実人数は13人減少	その他			
目標値	1,850人	1,937人	2,012人	(R2:1,678人、R3:1,665人)しており目標値は未達である。雇用延長等が浸透しつつ					
		1,5017	2,012/	中、会員の入会時年齢や平均年齢が上昇しており、会員ニーズと就業のマッチングや会	員の高齢化に見合っ				
実績値	1,665人	→ 2% 63 6± =r #		た業務や新しい就業形態の業務受注を進めることが必要となっている。	10 W 200		え担り必安かのる。		
音標②)介護 基準値	支援ボランティ 100箇所(令		l .		担当課		今後、オンライン等コロナ禍でも活動できる手法の導入を検討し、施設数の増や活動率の向上につなげていく必要がある。		
	100回別(力	計画期間		実績に対する評価	地域包括ケア推進課	継続			
年度	令和3年度		令和5年度		型コロナウイルス拡			3	/
				大の影響により、市内福祉施設等がボランティアを受け入れることに躊躇し、登録箇所	数が増えていないと				
目標値	106箇所	114箇所	122箇所	考えられる。今後、オンライン等コロナ禍でも活動できる手法の導入を検討し、施設数	の増や活動率の向上				//
実績値	101箇所			につなげたい。					/
	命の延伸に向け		防の推進			次期計画への方向性	意見	通番	アンケー
	対象者の維持・				担当課		今後も自立支援・重度化防止 に向けて、必要な方に早期に	4	
基準値	55.2%人(全			ch/+ /	地域包括ケア推進課				
実績 		計画期間		実績に対する評価			サービスを利用頂けるよう、		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	事業対象者の維持・改善率は目標値を上回っており、介護予防・生活支援サービス事業	の利用が自立支援・	継続	地域包括支援センターや介護 事業所と検討を行いながら、 周知啓発やサービスの充実を 図る。		/
目標値	56%	57%	58%	重度化防止につながってると言える。一方で、事業対象者数は年々減少していることか					/
	3070	3170	3370	に広報まつど特集号にて基本チェックリストを掲載し、事業の周知を図った。今後も機					/
実績値	58%			高齢者を早期に把握し、適切なサービス利用につなげることで、自立支援・重度化防止	を推進していく。				/
指標② 社会	参加得点				担当課				
基準値	75.1点(令和	1元年度)			地域包括ケア推進課		介護予防推進のため社会参加	5	65~6
実績		計画期間		実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			拡充	得点増を目指す必要がある。		
D##/#	_	_	81.0点	参加が減少した傾向が見受けられる。新型コロナウイルス感染防止のため、政府やメデ			特点増を日担り必委がめる。		
目標値			01.0///	もあり、社会参加活動を自粛した高齢者が多いことが要因と考えられる。今後、新型コ	ロナウノルマの武法				

1/4

数值目標

	2 多世代型地域包					次期計画への方向性	意見	通番	アンケート項
1,50+11	地域包括ケアシステ		<i></i>		担当課		関係機関同士の連携を強化		
	多分野に関わる課題を		‡数		地域包括ケア推進課		し、引き続き課題解決を行		
基準値	i 300件(令和	,			0 7/0747 1 75/05/1		う。 令和3年度より実施した包括		
実績		計画期間		実績に対する評価		7 - 61			5, 11, 116
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度から開始した重層的支援体制整備事業に伴い、地域包括支援センターでも「リ		その他	その他 的相談支援事業の体制整備状	6	131, 13
	400//	500//	600//	(断らない相談)」(包括的相談支援)を実施してきたことから、多分野に渡る相談に			況を図る指標としたため、次		
目標信	値 400件	500件	600件	える件数に対応している。今後も地域包括支援センターにおいては、多分野に渡る課題			期計画では評価指標を変更予 定。		
実績値	値 498件			速やかに相談対応が可能な関係機関、または福祉まるごと相談窓口との連携を通じて課 り組みを行う。	・根理性にあたって収				
1 抽		参加と協働の	推進による社			次期計画への方向性	意見	福釆	アンケート
	各種協力事業者数		THE POST	AN XIX OF PRINTED	担当課	次期前 国 100 万间住	恶死	延田	
基準値	H 1= 1000 0 0 1010 H 201	和元年度)			地域包括ケア推進課				
 E 績		計画期間		実績に対する評価			企業との連携や共催事業の実		
	A == 0 == =		A	地域共創社会の実現に向けた連携に関する協定は継続している。高齢者の介護予防に資	賢する活動や独自で高		施など新たなつながりを構築		/
年度	令和3年度	一令机4年度	令和5年度	齢者を応援するサービス、地域活動団体向けコンテンツ、活動場所を提供している「元	元気応援キャンペー	継続	し、高齢者等の安全・安心に	7	/
日標信	/ 生 77/95=6	0.045=1	0755=0	ン」の協賛団体は49団体で増減なしであった。高齢者等見守り協定については、全体で	では27事業者との協定		ついて引き続き推進する必要		/
日標1	100 // 固///	82固州	87箇所	を締結しており、令和3年度新規で協定を結んだ事業者は1者であった。現時点におい	いて年間目標値を達成		がある。		/
中华	法 77等式			しているが、いずれの事業においてもコロナ禍による影響を受けていると分析しており	リ、引き続き注視し推				/
実績値				進するものとする。					/
指標② 虐待通報先の認知度 担当課									
基準値	15% (令和	,			地域包括ケア推進課		認知度向上にむけて、虐待防		
ミ績				実績に対する評価 市としては、SNSの活用やパートナー講座の積極的な開催、広報まつど特集号の発行、	古足の関心が高い傾	♦₩ ♦ ±	止条例も踏まえた児童・障害	0	/
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	向にある認知症関連施策との連携等を実施し、地域包括支援センターにおいても市民向		継続	とも連携した取り組みを引き 続き行っていく。	٥	
目標値	値 一	_	30%	知症サポーター養成講座内で虐待防止について説明を行うなど、積極的な周知を図った					
実績値	値 —			けて、今後も通報先の認知度向上に向けて取り組みを実施していく。	。 自脉直列建成区内				
2 認	知症施策の総合的な	推進		7 () [() [() () () () () () ()		次期計画への方向性	意見	通番	アンケート
指標①	まつど認知症予防で	プロジェクト新	所規参加者数		担当課				
基準値	146人(令和	1元年度)			地域包括ケア推進課				
実績		15% (令和 2 年度) 計画期間 令和 3 年度 令和 4 年度 — — —		実績に対する評価			協力機関が実施しやすい方法		/
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	コロナ禍において訪問しての調査が難しいことや、地域包括支援センター以外の協力機	と 後関の実施件数の伸び	継続	を検討し、利用者の増を目指	9	
千戊	値 201 Å	222人	243人	悩みから目標値に達しない可能性がある。様式や事業に係る手続きの簡略化など、実施			す。		
日標信		ļ .		していく。					/
目標信									
目標個実績個	値 164人	初中 (学生)	×)		+n \// =m				
目標信実績信	in 164人 値 164人 認知症相談窓口のi		*)		担当課		対象の年齢層に合った方法		
目標信実績信	in 164人 164人 認知症相談窓口のii	和2年度)	š)	実績に対する評価	担当課 地域包括ケア推進課		対象の年齢層に合った方法 (SNS・動画の活用など)や		,
目標信 実績信 基準値 実績	値 164人 認知症相談窓口の記 直 19.9%(令	和2年度)		実績に対する評価 認知症ガイドブック(ケアパス)について、認知症や物忘れについての相談先や受診が	地域包括ケア推進課	継続	(SNS・動画の活用など)や 啓発を実施する場所(ゆうま	10	/
目標信 実績信 基準値 実績 年度	値 164人 認知症相談窓口の記 直 19.9%(今)	和2年度)	令和5年度	実績に対する評価 認知症ガイドブック(ケアパス)について、認知症や物忘れについての相談先や受診が 等を掲載した「相談窓口マップ版」を新たに作成し、支所や関係機関、各種事業にて配	地域包括ケア推進課	継続	(SNS・動画の活用など)や 啓発を実施する場所(ゆうま つど・銀行・スーパーなど)	10	
目標信実績信標②	値 164人 認知症相談窓口の記 直 19.9%(今)	和2年度)		認知症ガイドブック(ケアパス)について、認知症や物忘れについての相談先や受診が	地域包括ケア推進課 ができる市内医療機関 己架、配付した。ま	継続	(SNS・動画の活用など)や 啓発を実施する場所(ゆうま	10	

2/4 数値目標

	舌支援センター					次期計画への方向性	意見	通番 アンケ
	の予防活動等社		立ち上げ支援	団体数	担当課		コロナ禍において「社会資源	
基準値	34件(令和法				地域包括ケア推進課		の新規立ち上げ」が難しい状	
績		計画期間	1	実績に対する評価		7 0 /14	況が続いているため、既存の	69, 7
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度から大幅に支援団体数が減少し、目標値に大きく届かなかった。新型コロナ	ウイルス感染症の流	その他	社会資源の活用を促す取組に	11 1
目標値	40件	45件	50件	行下において、社会資源の新規立ち上げだけでなく既存の社会資源の多くが休止に追い			ついて評価する指標の設定を 検討する。	
実績値	16件			ある。一方で、オンライン交流会の立ち上げなど新しい生活様式を踏まえた取組が進ん:	だ点は評価できる。			
指標② 包括事業評価の平均点					担当課			
基準値	3.62点(令和	1元年度)			地域包括ケア推進課			
績		計画期間		実績に対する評価			事業評価を通じた地域包括支	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値はわずかに届かなかった。一方、新型コロナウイルス感染症の流行下において、	評価対象である人が	継続	援センターの機能強化を継続 していく。	12
目標値	3.63点	3.64点		集まるイベント等が実施できない状況のなか、15地域包括支援センターの平均点が前年				/
実績値	3.62点			とは一定の評価ができると考える。				
	介護サービスの	商正な供給				次期計画への方向性	意見	が 通番 アンケ
	な主体の確保	四上な区型			担当課	人知計画への方向住	思允	世田 ノンツ
	の整備に必要な	介護従事者数	Ī				募集数を満たさなかった(看)小 多機については、R4に上乗せし て募集する。 次期計画への方向性について、目 標値の設定や実績値の把握が難し い部分もあるため、指標の見直し も検討していく。	
基準値	70人(令和:		<u>`</u>		介護保険課	その他		
		計画期間		実績に対する評価				4.0
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					13
日標値	128人	106人	150人	令和3年度整備分の地域密着型サービス事業者の公募を行ったが、(看護)小規模多機				
実績値	58人			定期巡回・随時対応型訪問介護看護について、応募が募集数を満たさなかったため目標	に届かなかった。			
	護サービスの充	まと左字医療	・ 介護油堆の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		次期計画への方向性	意見	通番 アンケ
	護)小規模多機			性性 ·	担当課	入期計画への方向性	思允	世田 アンケ
基準値	508人(令和		/足员秘数		介護保険課	4		
 : : : : :	000)((1)1)	計画期間		実績に対する評価		募集数を満たさなかった		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			継続	(看)小多機については、R4 に上乗せして募集する。	14
目標値	595人	682人	740人	令和3年度整備分の地域密着型サービス事業者の公募を行ったが、(看護)小規模多機	能型居宅介護につい			/
	532人			て、応募が募集数を満たさなかったため目標に届かなかった。				
手類1月	1 1	医療機関数			担当課			
実績値を対しており	② 在宅医療を支援する医療機関数準値 43箇所(令和2年度)				地域包括ケア推進課		切れ目のない在宅医療と在宅	
		Ⅱ4牛皮)		実績に対する評価	3,011,,142,		介護の提供体制の構築を推進	
		計画期間		天禎に刈りる計画		4/4 公吉		
 標② 在宅 基準値		計画期間	令和5年度	長機に対する計画 目標値にわずかに届かなかった。在宅医療の新規参入支援等を目的として、松戸市在宅	医療・介護連携支援	継続	するため、医療機関の在宅医	15
#	43箇所(令和 3 年度	計画期間 令和4年度				継続		15
 標② 在宅 基準値 	43箇所(令和	計画期間	令和5年度 49箇所	目標値にわずかに届かなかった。在宅医療の新規参入支援等を目的として、松戸市在宅	在宅診療を補助する	継続	するため、医療機関の在宅医	15

(1)いきいき安心プランVIIまつど_数値目標管理表

後2 地域の影	実情に合わせた	注まいの確保	と施設整備			次期計画への方向性	意見	通番	アンケート
指標① 特養基準値		元年度)			担当課 介護保険課				
 実績	454人 人材の確保・定着及び資質向上に向けた ↑護人材育成事業利用者数 36人(令和元年度) 計画期間 令和3年度 令和4年度 令和54 47人 52人 57人		実績に対する評価			R5に予定していた特養80床の整備が		,	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			利木 紀元	継続 辞退となったことから、次期計画において需給バランスや人材確保を踏ま		
目標値	450人	470人	485人	和3年4月に定員が40床増となったこともあり、基準値を上回り目標も達成した。			え、引き続き目標を設定する。		/
実績値	454人								
3 介護人村	材の確保・定着だ	及び資質向上	に向けた取り	組みの推進		次期計画への方向性	意見	通番	アンケー
指標① 介護 基準値					担当課 介護保険課		事業者に対して、ケア俱楽部		
実績		計画期間		実績に対する評価			の掲載、広報やプッシュ通知		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				メール等様々な媒体を通じ本 事業の周知を図り、認知度を 向上させる。	17	/
目標値	47人	52人	57人	目標値を達成した。引き続き介護人材育成事業を通じて、未経験者の参入の促進を図る	5.				
実績値	51人								
指標② 「介	護助手」採用事業者数				担当課		R5に事業者等アンケート調査にて、		
基準値	70箇所(令和	12年度)			介護保険課	継続	需要を確認。前回の計画策定時のアンケートでは、47%が介護助手を採用したいとは思わないと回答があったところ。『在宅医療・介護事業所検索システム』に介護施設の求人・介護助手・ボランティア募集等の情報を事業		
実績 		計画期間		実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					18	/
目標値	_	-	100箇所	介護助手に限らず広くWEB上でのマッチングを強化する情報提供基盤の構築を行い、月日」介護保険特集号にて周知を行った。引き続き周知を行っていく。	広報まつど「介護の				
実績値	_						ナ・ホフンティア 券集寺の旧報を事業 者へ周知していく。		/

4/4 数値目標